

世界にとどけ ちとせっ子からの環境メッセージ

「気温の上昇による水不足や食料危機、異常気象による災害など世界中で不安が広がっています。環境の異変は決して人ごとではありません。」

「私達人間は自分達の利益のために水や空気を汚し限られた資源を無計画に使ってきました。」

「自然はつながったひとつの大きな輪です。例えほんの一部でも壊してしまうと全体に大きな影響が及んでしまいます。そのことを私たちは知る必要があると思います。」

「先住民の知恵に学び私たちは今すぐ環境破壊にストップをかけ貴重な自然を保護していかなければなりません。」

「こんな美しいふるさとがあることを幸せに思います。そして、このふるさとをずっとこのままの姿で保ち続けたいと強く思います。」

「人間が地球のドクターとなって地球の傷口を癒すために手を打ち、世界の国々が足並みを揃えて地球全体を守っていくことが大切です。」

「環境保全の取組は知っているだけでは不十分だと思います。実行していくことこそが重要なのです。そして、その試みを毎日続けていけるかどうか。そのことがとても大事だと思います。」

「世界中の皆さん、私たちと一緒に考えていきましょう。知恵と力を貸してください。そして50年後、今よりもっと美しい地球の上で誰もが笑顔でいられることを私たちは心から願っています。」

1. 「気温の上昇による水不足や食料危機、異常気象による災害など、世界中で不安が広がっています。環境の異変は、決して人ごとではありません。」

地球の温暖化が、かつてないスピードで進んでいるといわれています。その影響と思われるニュースが、世界各地から相次いでいます。

気候の変動によって、かつて緑豊かだった場所が、砂漠へと姿を変えたり、雨の少なかった地方に大雨が降るといったことが、もはや珍しくありません。さらに、地球温暖化がこのまま進めば、海水面が上昇し、水没してしまう国さえあるそうです。環境の変化によって、絶滅の危機にある生き物も、たくさんいます。

気温の上昇による水不足や食料危機、あるいは熱帯地域からの伝染病の拡大、異常気象による災害など、世界中で不安が広がっています。

日本もまた、例外ではありません。例えば、私たちの住む北海道では、これまで台風の影響は少ないと言われていました。しかし近年、台風によって千歳でも支笏湖周辺の森が大きな被害を受けました。環境の異変は、決して他人事ではないのです。(378文字)

2. 「私達人間は自分達の利益のために水や空気を汚し限られた資源を無計画に使ってきました。」

この数十年ほどの間に、世の中の様子は大きく変わりました。産業が発展し、私たちの生活はとても豊かになったと言われていています。自動車が普及して、遠くへも楽に行けるようになりました。街には商品があふれ、日本にいながら、世界中の食べものを手に入れることもできます。また冷暖房のおかげで、暑い日も寒い日も、快適に過ごせるようになりました。

その一方で、人間はそうした暮らしのために、水や空気を汚し、限られた資源を無計画に使ってきました。木を切り、森をつぶし、自分たちの利益のために、開発を優先させてきたのです。

便利さと効率を求め、化石燃料をどんどん使ったり、ふえ続けるゴミを焼却したりすると、大量の二酸化炭素が放出されます。多すぎる二酸化炭素は、地球全体の温度を上げてしまうということがわかってきました。

二酸化炭素を吸収してくれる緑が減少している今、様々な異変は、自然のバランスが狂いつつあることの警告ではないでしょうか。(405文字)

3. 自然は、つながったひとつの大きな輪です。例えほんの一部でも壊してしまうと、全体に大きな影響が及んでしまいます。そのことを、私たちは知る必要があると思います。

私たちは、植物が作った酸素を吸って生きています。そして私たちが吐き出した二酸化炭素を、植物がまた吸いこんで、酸素に変えてくれます。

またあるいは、こんな例もあります。サケは川で生まれ、水中の虫などを食べながら、やがて海へくだって大きく育ちます。そして再び、生まれた川に戻って新しい命を産みます。

産卵を終えたサケはそこで死んでしまいますが、それは山に住む生き物の食料となり、めぐりめぐって山の栄養となります。山が元気になれば、きれいな酸素と水がつけられます。その水がまた、川となって新しい命を運ぶのです。

自然のサイクルには無駄がなく、一つの命は、また別な命を支えていることがわかります。自然は、つながったひとつの大きな輪なのです。例えほんの一部でも壊してしまうと、全体に大きな影響が及んでしまうことがあります。そのことを、私たちは知る必要があると思います。(374文字)

4. 先住民の知恵に学び、私たちは今すぐ環境破壊にストップをかけ、貴重な自然を保護していかなければなりません。

私たちは、空気、水、そして食べ物を、自然から分けてもらっています。もし酸素がなくなってしまうたら、例え数分でも、私たちは生きられません。私たちが自然から得ているものは、計り知れないほど大きいのです。自然が滅びるとき、私たち人間もまた、滅びてしまうといえるでしょう。生きることには不可欠なものが足りなくなれば、戦争さえ起きるかもしれません。

自然を壊すことは簡単でも、元に戻すには、長い長い時間がかかります。例えば、木を切り倒すのは機械を使えばあっという間です。けれど、その木が元の大きさに育つには数十年もかかるのです。だからこそ、私たちは今すぐ環境破壊にストップをかけ、貴重な自然を保護していかなければならないと考えます。

北海道の先住民族アイヌは、自然界の全てのものに命があると考え、自然と共生することを大切にしてきました。今こそ、その考え方を見習うべきではないでしょうか。(385文字)

5. 「こんな美しいふるさとがあることを、幸せに思います。そして、このふるさとを、ずっとそのままの姿で保ち続けたいと、強く思います。」

日本には海があります。山もあります。日本では、四季がはっきりとしていて、自然の織りなす様々な姿を見ることができます。

なかでも北海道は、自然がそのままに残されている場所が多いと言われていきます。リスやキツネ、クマが住める森が、人間の住む場所のすぐ近くにあるということは、それだけ自然が豊かだという証拠だと思います。

私たちの住む千歳にも、サケの帰ってくる千歳川や、美しい森に囲まれた支笏湖など、誇りに思えるような場所がたくさんあります。

ニコルさんを囲んで集まった青葉公園も、緑が豊かで、市民の憩いの場です。ニコルさんと共に過ごしたあの日、木々の緑は初夏の日差しに輝き、さわやかな風が吹いて、本当に気持ちのよい日でした。

こんな美しいふるさとがあることを、幸せに思います。そして、このふるさとを、ずっとそのままの姿で保ち続けたいと、強く思います。(368文字)

6. 「世界の国々が、足並みを揃えて努力していかなければ、地球全体を守っていくことはできません。人間が地球のドクターとなって、地球の傷口を癒すために、手を打っていかねばなりません。」

私たち人間は、地球に生きる多くの生命のうちの、ほんの一部でありながら、こんなにも地球の環境を変えてきてしまいました。私たちには、地球の環境をこれ以上悪くしないよう、努力していく義務と責任があります。地球のドクターとして、地球の傷口を癒すために、手を打っていかねばなりません。

環境を良くすることは、確かに大変な労力が必要です。しかし、不可能なことではないのです。

地球には、多くの国があり、多くの人間がいます。ひとつでも多くの国が、そしてひとりでも多くの人間が、地球を守るという気持ちを持って暮らし、協力しあうことが不可欠なのです。自分たちだけよければそれでいい、という考え方はいけません。この地球上では海も、空気も、つながっています。世界の国々が、足並みを揃えて努力していかなければ、地球全体を守っていくことはできないのです。(367文字)

7. 「環境保全の取組は、知っているだけでは不十分だと思います。実行していくことこそが重要なのです。そして、その試みを、毎日続けていけるかどうか。そのことが、とても大事だと思います。」

地球の環境を考えると、私たちは、日々の暮らしの中でどんなことができるでしょうか。千歳市内でも、数多くの学校が、身近な環境対策の取り組みを始めています。ボランティア活動でゴミを減らしたり、木を植えたり、リサイクル活動を積極的に行うなど、その内容は各学校により様々です。

また家庭でも、できることをたくさん見つけることができます。買い物でレジ袋をもらわず、マイバッグを持っていくこと。電気や水の無駄遣いをやめること。近い所なら、車を使わず歩くこと。そのどれもが、ささいなことです。けれど、ささいなことでも、積み重なれば大きな成果になります。

ゴミを減らす 3 つの「R」、リユース・リデュース・リサイクルということが広く知られていますが、知っているだけでは不十分だと思います。実行していくことこそが重要なのです。そして、その試みを、毎日続けていけるかどうか。そのことが、とても大事だと思います。(392 文字)

8. 「世界中の皆さん、私たちと一緒に考えていきましょう。知恵と力を、貸してください。そして 50 年後、今よりももっと美しい地球の上で、誰もが笑顔でいられることを、私たちは、心から願っています。」

「これからの 50 年は、あなた方の時代です」とニコルさんはおっしゃいました。それは、私たちの行い次第で、地球のこれからは大きく変わる、ということだと思います。50 年後の地球を、今よりももっと元気にする。そしてその地球を 100 年後も千年後も、ずっとずっと美しい姿のままで、次の世代へバトンタッチしていくこと。それは私たち若い世代に託された、大きな宿題ではないでしょうか。

私たちは、ニコルさんから、「君たちには愛情も知恵もある。未来を信じてください。大丈夫、日本は世界一美しい国になれる。」という力強いメッセージをいただきました。そのメッセージをしっかりと心に刻んで、一步一步、進んでいきたいと思ひます。

世界中の皆さん、私たちと一緒に考えていきましょう。知恵と力を、貸してください。そして 50 年後、今よりももっと美しい地球の上で、誰もが笑顔でいられることを、私たちは、心から願っています。(394 文字)